

ジニアス・ソノリティ、Oracle Cloud Infrastructure の MySQL HeatWave でデータドリブなゲーム・サービス運営を実現



ゲームの企画・開発・運営しているジニアス・ソノリティ株式会社では、MySQL HeatWave を導入してより良いサービス提供のためのゲームデータのリアルタイム分析を実現しました。

Business Challenge

ジニアス・ソノリティでは、ゲーム・サービスの運用基盤として、「Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 」上で提供される MySQL のマネージド・データベース・サービスを利用しています。提供しているゲームをより幅広いお客様に楽しんで頂くために、ゲームの難易度の調整、アイテムの利用傾向、各種イベントの参加率などのゲーム内データのリアルタイム分析が求められていました。

これまで、分析対象のデータが分散されており、まずリアルタイム分析処理のためのデータ統合をする必要がありました。また、別のデータストア間のデータの移動には、分析用の特別なスクリプトの作成、処理の開発も必要となるため、この実現は極めて困難なものとなっていました。

Why Oracle

ジニアス・ソノリティは、既存の「Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 」環境上に、新たにゲーム内データ分析基盤として「Oracle MySQL HeatWave Database Service 」導入を決定しました。特別なスクリプト作成や処理が必要なく、MySQL の SQL でそのままリアルタイムにデータ分析が可能な点も評価しています。「Oracle MySQL HeatWave Database Service」は、お客様が利用する MySQL データベースから直接 OLTP および OLAP ワークロードを実行可能で、複雑で時間とコストのかかるデータ移行や、他の分析用データベースとの統合が必要ありません。

Results

「Oracle MySQL HeatWave Database Service」導入後は、これまで実現できなかったゲーム内データやサービス利用状況を毎時で分析できるようになりました。事前に検証した想定処理時間は 2,3 時間でしたが、MySQL HeatWave 導入後は 2,3 分で分析を実行できます。

「MySQL HeatWave を導入したおかげで、想定最大 90 倍もの高速化を実現し、リアルタイム分析を毎時間行うことができます。プログラム開発の負荷や事前に検証した想定処理時間では実現不可能と考えていたので、本当に驚きです。」

川本 昌之

ジニアス・ソノリティ株式会社
取締役 / 最高技術責任者



GENIUS (SONORITY)

Oracle Customer

ジニアス・ソリティ株式会社

<https://www.geniussonority.co.jp>

設立：2002年6月

業種：情報通信業（ゲームソフトウェア業）

主要取引先：株式会社ポケモン、任天堂株式会社（ほか）

Related services

- MySQL HeatWave
- MySQL HeatWave Database Services
- Oracle Cloud Infrastructure

ジニアス・ソリティでは、これらのリアルタイムで得られるデータを活用し、新たなイベントやキャンペーンなどの施策立案やゲームの難易度の調整など、さらに幅広いユーザーが楽しめるゲーム体験提供やサービス向上に取り組み、データドリブンなゲーム・サービス運営を行っています。

About Genius Sonority

ジニアス・ソリティは2002年に任天堂株式会社と株式会社ポケモンの出資を受け設立されました。創業当初より「ゲームで生活を良くする」という企業理念の元、ゲームソフトの企画・開発を一貫して行っています。

任天堂およびポケモンなどからリリースするタイトルのほか、自社で育てたオリジナルタイトルにも力を注いでおり、コンシューマ開発会社として実績のある同社の開発力が発揮されています。

オラクルの情報を発信しています

【MySQL お問い合わせ窓口】TEL: 0120-065556【受付時間】平日 9:00-12:00/13:00-18:00（祝日及び年末年始休業日を除きます）

blogs.oracle.com/mysql

facebook.com/mysql

twitter.com/mysql_jp

Copyright © 2022, Oracle and/or its affiliates. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

本デバイスは、連邦通信委員会のルールに基づいた認可を未取得です。認可を受けるまでは、このデバイスの販売またはリースを提案することも、このデバイスを販売またはリースすることはありません。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。